

特別養護老人ホーム 三愛園



しあかせだよい



令和7年12月号

三愛園の庭

当園はご覧のとおり、一ツ葉の木々に囲まれた風光明媚な場所です。どこからともなく庭の木立に、羽を休めに「コアジサシ」が飛来してくれる時があります。コアジサシとは国の絶滅危惧種に指定されているわたり鳥で、宮崎港の砂洲で繁殖活動をしています。檍地区では保存会が結成されコアジサシが安全に繁殖できるように、砂浜の清掃活動が展開されています。さて、当園の庭に視線を戻すと、冬の名残から春にかけて白梅に始まり、椿、河津桜、ソメイヨシノ桜、ツツジ、枇杷などが順に開花します。利用者様、職員も可憐で清楚な彩りを満喫させてもらいます。桜のお花見は当園の屋上に上り、手が届く距離で桜をめでることができます。利用者様は手を伸ばして、桜の花びらに触れたりされます。次に4月下旬からは、こいのぼりが泳ぎはじめ初夏の訪れを実感できます。皆さん、薰風に泳ぐこいのぼりに目を細めじっと眺めます。こいのぼりを通じて、誰しもが抱く遠い記憶が去来するのでしょうか。それから、当園には多くの松の木がありましたが現在は松くい虫で立ち枯れてしまいました。木も人と同じでいつかはたそがれていくものだと植物が教えてくれています。そして、利用者様は皆住み慣れた自宅を離れて、縁あって当園にご入所されました。当園で従事する私たちは、利用者様とのかけがえのないめぐり逢いを頂きました。微力ですが私たちは、利用者様に少しでも庭を眺める工夫をこらし、四季のうつろいが楽しめるように努めて参ります。さておき、関係者の皆さまがご来園される時に、運が良ければコアジサシとご対面できるかもしれませんよ。

11月のふれあいデーはクリスマスツリーの飾り付け！！



MERRY
CHRISTMAS

